

～～第8837回～～

東峰～一本杉

～R2. 1. 19～

安倍川駅前を車3台に分乗し出発。途中で1名乗車、「真富士の里」で1台と合流し計4台「六郎木」バス停横広場に駐車。周りの山々は樹氷で真っ白。ストレッチで体をほぐし県道を本村バス停まで歩き林道に入る。直に山道に入り茶畑の中の急登をひたすら進む。車道の通じていない山の斜面の2軒の民家の横を通り、雪を被る茶畑や植林帯の中を登って行く。安倍川と関の沢に挟まれた東峰の稜線まで登り着き、東側に少し下って一軒家の脇を通ると、東に真っ白な十枚山、下十枚山などが広がり、山々の美しさに歓声があがる。暫く平坦な道を進み、数軒の大きな廃屋を眺めると「林道工事中」の案内板があり、足場が悪い回路に行く。建設中の林道に出て階段を登り山道を上ると、帰路に歩く分岐に出て小さな赤い「稻荷大明神」がある。今日の山行の安全を祈り手を合わせる。民家の脇を登り「大光山」の標識の方向に進んで行く。林道の終わるところに2軒の民家があり、その左側を登ると「日本一高所の茶畑海拔 1000m」と書かれている。南に開けた茶畑からは、安倍川河口方面は雲が増えてはつきりとは見えない。西側の安倍川対岸に大代の、手前には帰路に迎える戸持の、それぞれ山上集落が眺められる。雪を被る茶畑を抜け、手入れのされた杉の植林帯と暗い檜の若木帯を抜けると、一本杉へと続く稜線東斜面の傾斜のある古い伐採後に出る。枯れた茅が足元を覆い歩きにくい道を滑らないように注意し、声を掛け合いながら進む。再び植林に入り、緩斜面から一本杉への登りになる。雪の付いた傾斜のある南斜面をジグザグにルートを進み、西から北に回り込んで緩やかになると目的の山の西肩に着いた。西側の樹林越しの眺めは雲が増えて望めない。東にひと登りで一本杉(1235m)山頂着。四方を木々に囲まれ展望のない三角点だったが、ひんやりとした空気が心地よかった。帰路は稜線を北に進み、大光山～東峰のルートに出て南へとUターンして戻る。2～3センチ積もった雪の上を慎重に滑らないよう注意しながら下るが、ルートの分かりにくい心細くなるような道だ。やっと高所の茶畑まで戻り、民家の前で昼食。時々粉雪が舞い寒い。「稻荷大明神」の前の林道を西側に下り、谷を大きく回り込むと南に開けた戸持集落に出て、茶畑の間の山道を下る。寒いためか外にいる人はなく誰も会わない。林道が出来て利用がなくなった山道をひたすら下り、本村の川に架かる朽ちかけた丸太橋を渡ると林道に出た。車に気を付けて県道を歩き駐車場に戻る。「真富士の里」で1台と別れ帰路に。樹氷に被われた真っ白な山々を眺め雪を踏みしめて歩くなかなか経験出来ない楽しい山行だった。お疲れ様でした。

参加者：16名（静岡西14、焼津1、藤枝1）

天気：晴れ後曇り

地図：湯の森・梅ヶ島

コースタイム：安倍川駅前 700＝六郎木バス停横駐車場 805-20…東峰稜線 920…稻荷大

明神 950…高所の茶畑 1005-10…一本杉 1055-1100…民家の前(昼食) 1135-1200…戸持集
落 1225…林道 1300…駐車場 1308-20=安倍川駅前 1430

記録：静岡西支部 増田か